

東北地方 1か月予報

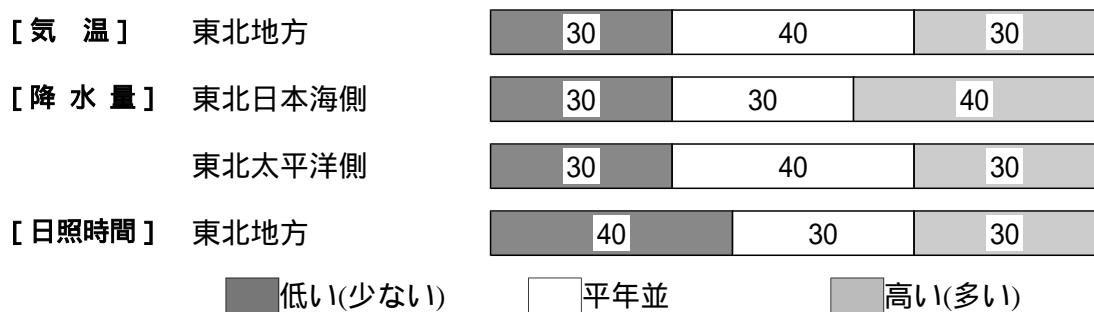
(7月18日から8月17日までの天候見通し)

平成21年7月17日
仙台管区気象台発表

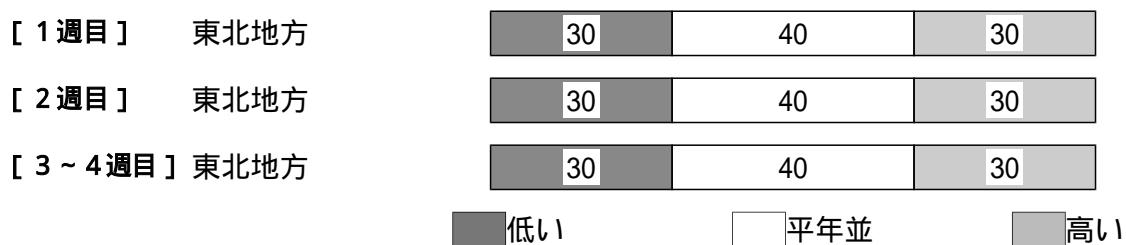
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は期間の前半は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月18日(土) ~ 8月17日(月)
1週目 : 7月18日(土) ~ 7月24日(金)
2週目 : 7月25日(土) ~ 7月31日(金)
3~4週目 : 8月 1日(土) ~ 8月14日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月24日
3か月予報：7月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.0	110.8	193.7	21.8	23.2	23.6
深浦	23.1	141.7	192.5	22.1	23.3	23.5
むつ	21.6	111.9	162.2	20.3	21.7	22.1
八戸	22.3	110.2	182.8	20.9	22.5	22.8
秋田	24.5	156.7	199.5	23.5	24.7	24.9
盛岡	23.4	157.1	164.4	22.4	23.6	23.7
大船渡	22.8	149.6	169.2	21.6	22.9	23.3
宮古	22.0	133.3	170.7	20.6	22.1	22.5
仙台	23.9	144.6	155.9	22.7	24.0	24.4
石巻	23.2	107.2	176.7	22.0	23.2	23.7
山形	24.8	133.3	186.5	23.8	25.1	25.2
新庄	24.0	158.0	184.6	23.0	24.2	24.4
酒田	25.0	153.0	216.8	23.9	25.2	25.3
福島	25.2	131.2	161.8	24.1	25.5	25.7
若松	24.9	133.9	203.1	24.0	25.2	25.2
白河	23.4	181.3	157.3	22.6	23.6	23.7
小名浜	23.4	109.4	191.3	22.3	23.3	23.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	74 ~ 118	90 ~ 111
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	76 ~ 116	91 ~ 112
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.7	74 ~ 120	91 ~ 113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +1.1	-0.5 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.7 ~ +1.0	-0.6 ~ +1.1	-0.7 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.8 ~ +1.2	-0.5 ~ +1.3	-0.4 ~ +0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年7月17日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月18日～8月17日)：

東北地方は、期間の前半は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みですが、気圧の谷や寒気の影響で天気がぐずつく時期もあるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(7月18日～7月24日)：

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

2週目(7月25日～7月31日)：

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目(8月1日～8月14日)：

東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みですが、一時、気圧の谷や寒気の影響で、天気がぐずつく時期もあるでしょう。

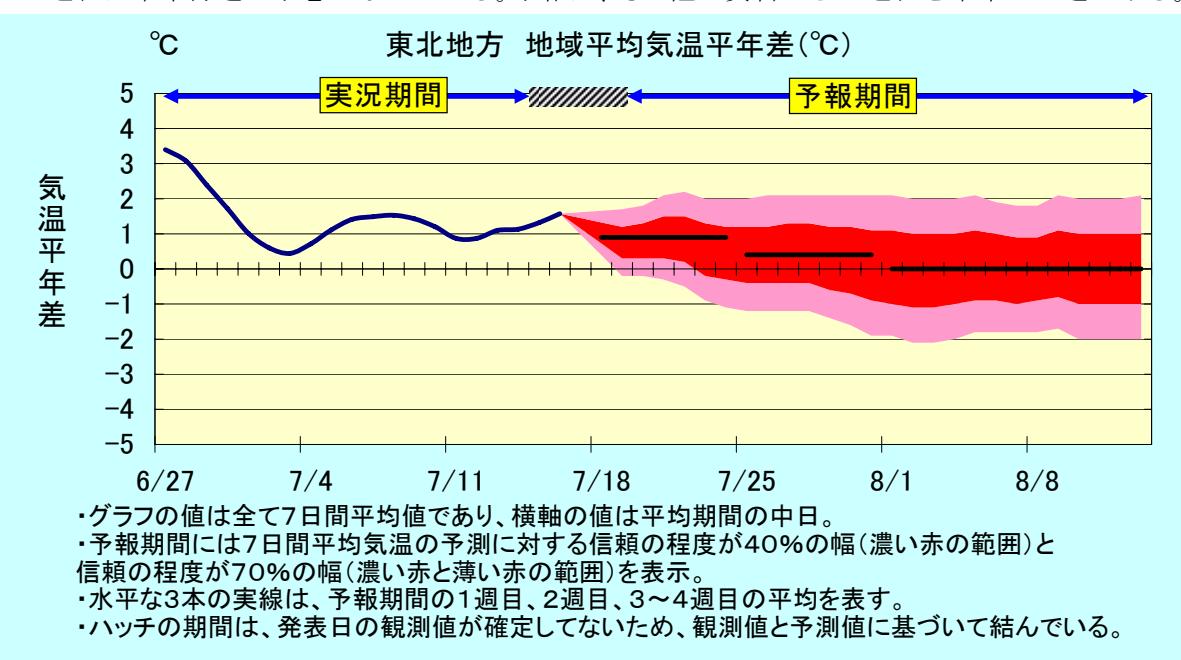
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	16.4日	3.7日	4.2日	8.5日
東北太平洋側	14.6日	3.2日	3.7日	7.7日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。予報は、その他の資料から1週目を平年並に近づける。

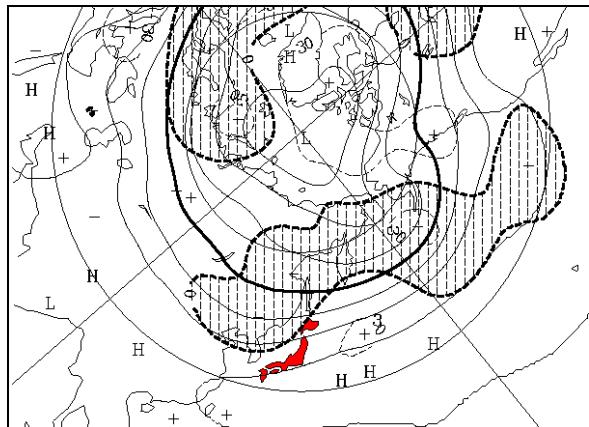


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は、日本の東海上を中心をもつ正偏差におおわれる。一方、オホーツク海から沿海州にかけて負偏差が広がる。日本付近は西谷傾向で、期間の前半を中心に気圧の谷や前線の影響を受けやすい見込み。

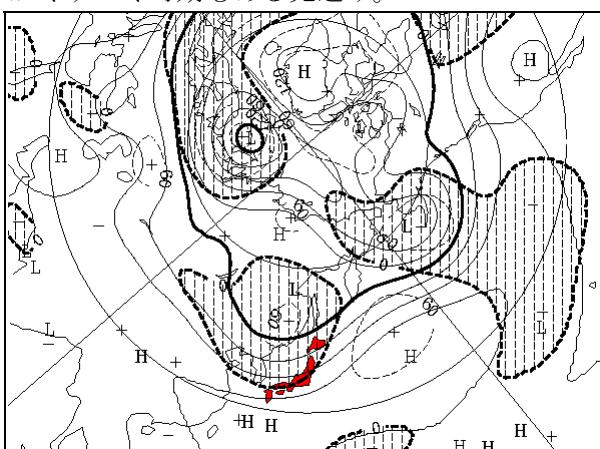
1週目: 日本の東海上で正偏差が強まる。一方、中国東北区から日本海は負偏差で、日本付近は西谷傾向。東北地方は、日本海側を中心に前線や気圧の谷の影響を受けやすい見込み。

2週目: 日本付近は正偏差となるが、偏差は小さい。大気の流れは、やや西谷傾向。高気圧におおわれて晴れる日もあるが、気圧の谷の影響で天気がぐずつく時期もある見込み。

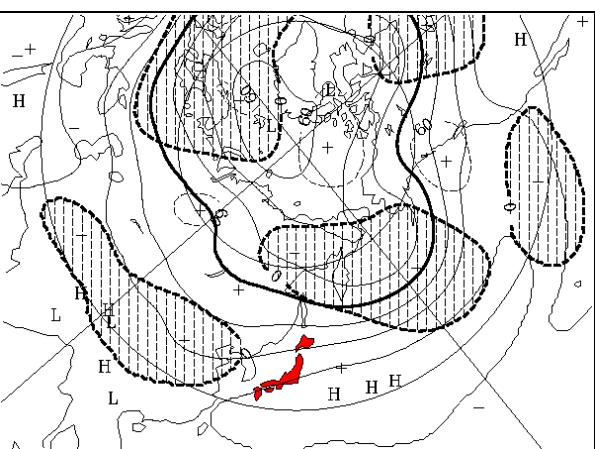


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

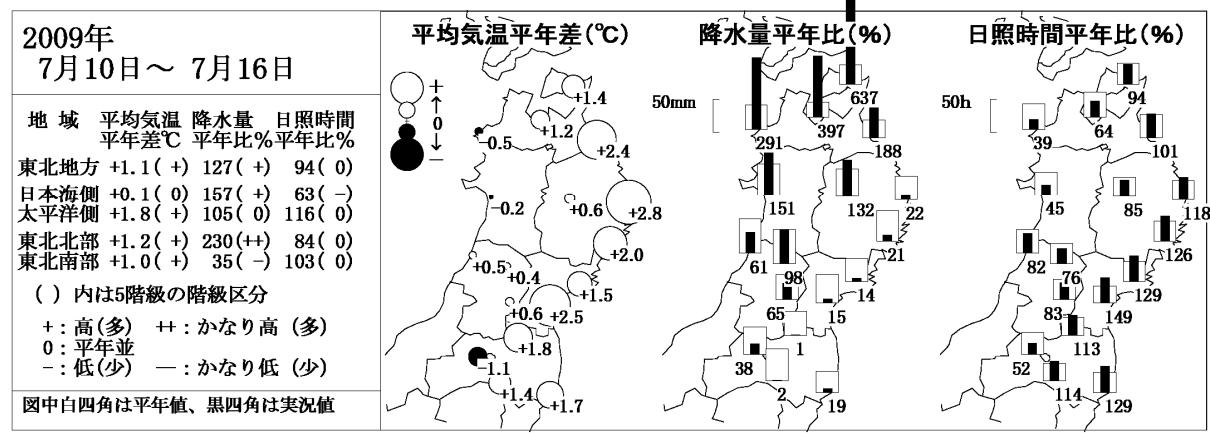
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月10日～7月16日) の天候の経過

この期間、低気圧や前線が短い周期で北海道付近を通過した影響で、東北日本海側は北部を中心に曇りや雨の日が多くなった。一方、東北太平洋側は南部を中心に低気圧や前線の影響を受けにくく、晴れる日もあった。なお、東北日本海側は寒気の影響も受け、気温が低い日もあったが、東北太平洋側は低気圧や前線に向かって暖かい南風が吹き込んだため、気温の高い日が多くなった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）